

専門基礎分野 授業計画

授業科目及び時間数	病理学 1単位 30時間		
開講時期	1年次 後期		
担当教員	石山純三・病理診断医師・フラピエかおり	実務経験	有
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>現代において医師・看護師などが行う医療行為は、個人的な考えや習慣、経験に基づいて行うのではなく、科学的な根拠に基づいて行うことが求められる。病理学は、臨床医学に科学的根拠を与える重要な土台となっている。まず、病気について、原因やなりたちを学び、その後各々の器官に生じる病気ごとに、原因や病気のなりたちなどの特徴を理解していく。よって、病理的状态の理解に必要な生体の反応と疾病のメカニズムをもとに病因・病態の特徴を理解することを達成目標とする。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 病理学で学ぶこと 1) 看護と病理学 2) 病気の原因 3) 病気の分類と病理学の学び方 2. 循環障害 1) 循環器系概要 2) 浮腫 3) 充血とうっ血 4) 出血 5) 血栓症 6) 塞栓症	講義 (石山)	
2回目	7) 虚血と梗塞 8) 側副循環による障害 9) ショック 10) 高血圧症 11) 播種性血管内凝固症候群	講義 (石山)	
3回目	1. 炎症と免疫 1) 炎症とその分類 2. 感染症 1) 感染と宿主の防御機構	講義 (石山)	
4回目	2) 主な病原体と感染症 3) 感染症の治療と予防	講義 (石山)	
5回目	1. 代謝障害 2. 老化と死	講義 (病理診断医師)	
6回目	1. 老化と死 2. 先天性異常と遺伝子異常 3. 腫瘍	講義 (病理診断医師)	
7回目	1. 腫瘍	講義・小テスト (フラピエ)	
8回目	1. 腫瘍と総論まとめ	講義・小テスト (フラピエ)	
9回目	各論 1. 循環器系疾患	講義・小テスト (フラピエ)	
10回目	1. 血液・造血系疾患	講義・小テスト (フラピエ)	
11回目	1. 呼吸器系疾患	講義・小テスト (フラピエ)	
12回目	1. 消化器系疾患	講義・小テスト (フラピエ)	
13回目	1. 腎・泌尿器系、生殖器系及乳腺系の疾患	講義・小テスト (フラピエ)	
14回目	1. 内分泌系の疾患	講義・小テスト (フラピエ)	
15回目	1. 脳・神経・筋肉系の疾患	講義・小テスト (フラピエ)	
評価方法	石山：終了試験 25% 筆記試験 病理診断医師：終了試験 25% 筆記試験 フラピエ：試験 50% 筆記試験		
受講生に対するメッセージ	<p>複数の医師によるオムニバス形式の講義体系となります。よって、各講師の講義内容を理解することが求められます。事前事後学習を行って十分な理解ができるよう取り組んでほしいです。尚、講師の都合により、講義順番が多少ずれることがあります。掲載の回数目とはずれることがありますので、ご了承ください。終了試験は講義終了後、各先生の試験を一緒に実施致します。</p> <p>フラピエ先生からのメッセージは、「形態機能学Ⅰ」を参照ください。</p>		
テキスト	<p>系統看護学講座 専門基礎分野 人体と構造と機能[1] 解剖生理学 医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進[1] 病理学 医学書院 フラピエかおり著 看護学生のための重要疾患ドリル 2020 メジカルフレンド社</p>		
参考書	松田 純著 「安楽死・尊厳死の現代-最終段階の医療と自己決定」 中公新書		